

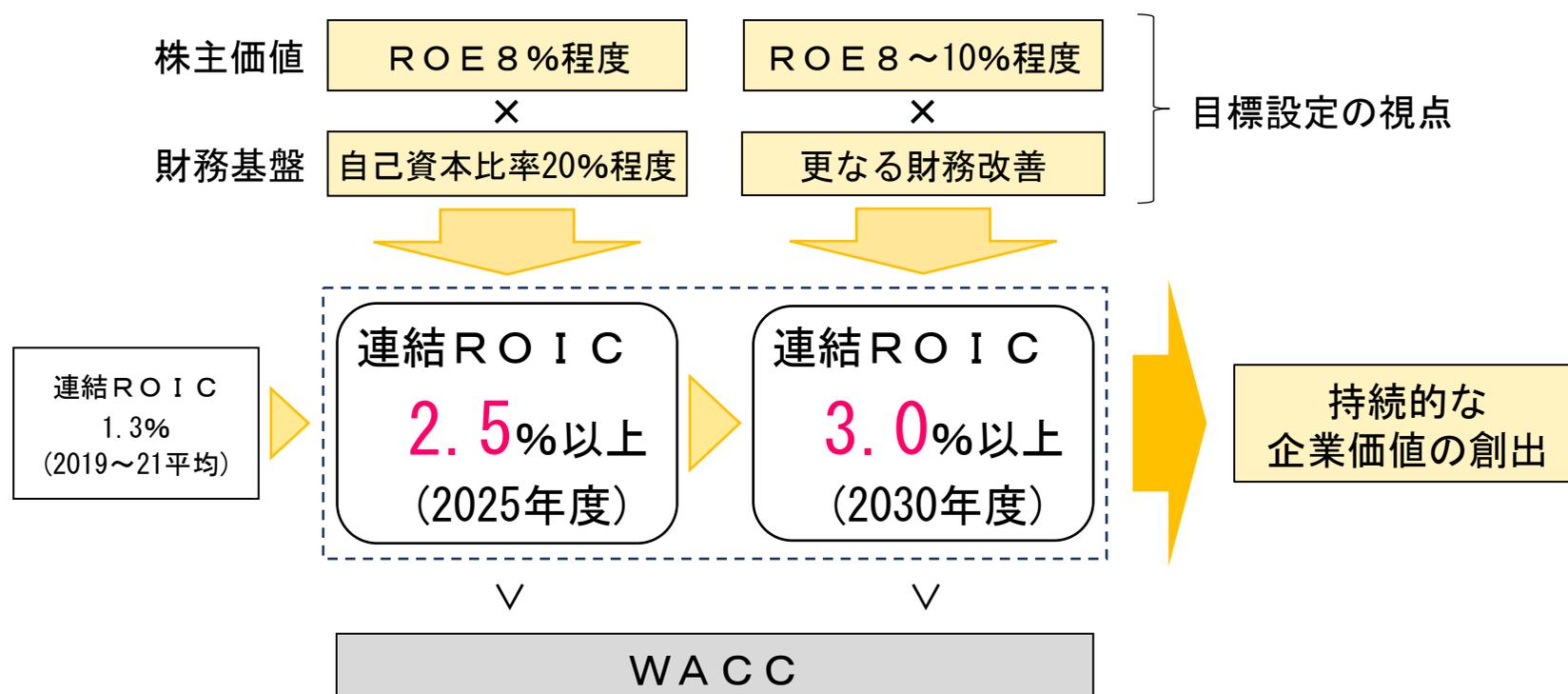
九電グループの更なる企業価値向上に向けた ROIC目標

九電グループは、資本効率性を意識した経営を通じて、2030年度の経営目標「連結経常利益1,500億円」の達成に向けた成長事業等の拡大と、財務基盤強化との両立を図り、中長期的なグループの企業価値を高めるべく、新たな経営指標としてROI C(投下資本利益率)を導入し、具体的なターゲットとする2025年度及び2030年度の目標を策定しました。

目標の達成に向け、九電グループ一体となってROI C経営を深化させ、資本効率性を高めていくことで、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に努めてまいります。

■ ROI C目標

ROI C目標については、WACC^{※1}のクリアに加え、株主価値向上(ROE^{※2}維持向上)と財務基盤強化(自己資本比率改善)の視点を踏まえ、中長期的にグループ大で達成すべき水準として、2025年度「連結2.5%以上」、2030年度「連結3.0%以上」を目標としました。



〔 ※1 WACC(加重平均資本コスト) : 投下資本に対する企業の資金調達コスト(または投資家の期待リターン)
 ※2 ROE(株主資本利益率) : 当期純利益(税引後)÷株主資本 〕

■ ROICを活用したマネジメント

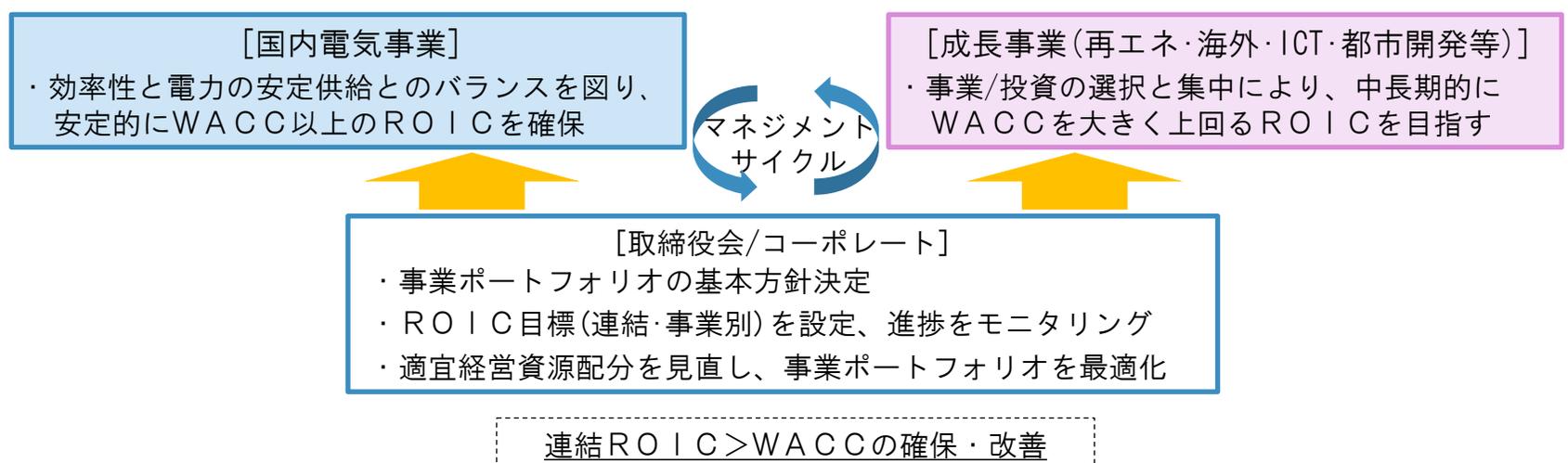
連結目標達成に向けて、「事業部門による主体的・自立的なROIC改善」と「事業ポートフォリオ管理の強化」を柱としたグループ大のマネジメントサイクル(PDCA)を推進してまいります。

(1) 事業部門による主体的・自立的なROIC改善

- 各事業の特性やライフサイクル、同業他社のベンチマーク等を踏まえた事業セグメント別のROIC目標を設定し、各事業部門が主体的・自立的にROIC改善を推進。

(2) 事業ポートフォリオ管理の強化

- 取締役会/コーポレートは、各事業セグメントの目標達成に向けた進捗をモニタリングし、全社のROIC目標や各事業の進捗・環境変化等を踏まえた資源配分を行うことにより、事業ポートフォリオを最適化。



■ ROIC向上に向けた各事業の取組み

各事業部門においては、事業特性に応じた重点施策・KPIを設定し、PDCAを通じてブラッシュアップを図りながら、ROIC向上・WACC低減に取り組んでまいります。

